

学校長 藤井 和彦

新学期がスタートして早一カ月。二十四節気によりますと、5月5日から立夏、今年のゴールデンウィークは本当に初夏を思わせる陽気で、通勤途中に見かける町内のほとんどの田は田植えも終わり、改めて季節の移り変わりの早さを実感しています。

5月2日には快晴の中、学校行事「歓迎遠足」を行いました。本校の遠足は神龍湖周辺の草花の観察ウォークと駐車場から国民休暇村までの斜面を登っていくハイキングの2本立てです。子どもたちはリーダーを中心に1年生や歩くのが苦手な子を励ましながら散策し、休暇村でも広場において、クイズや尻尾とりおになど、楽しいひと時を過ごしました。連休中にはそれぞれのご家庭においても行楽等いい思い出を作られたことでしょう。

明けた8日・9日、連続して本校に町内外からお客様がおいでになりました。玄関や廊下で出会った方には子どもたちは本当によく挨拶ができるので、帰りがけには集中して学習できることと併せてほめていただきました。また、登校してすぐに職員室をノックして「おはようございます。」と挨拶する児童が増えてきたのも、うれしいことです。今週からはいつもの学習に加え、5月21日の運動会へ向けて、猛練習が始まりました。競技や表現運動、組み体操、トランペット鼓隊等々、子どもたちは意欲的に練習を積んでいます。1年生の一生懸命に頑張っている姿はとても微笑ましいものです。2・3・6年生はいつそう遅くなったように思います。ご家族・地域の皆様のおいでをお待ちしております。仲間とともに一つのことを成し遂げようとチャレンジする子どもたちを是非ご覧ください。